



百貨店eMPの新サービス概要

平成20年 9月 10日

NTTコミュニケーションズ株式会社

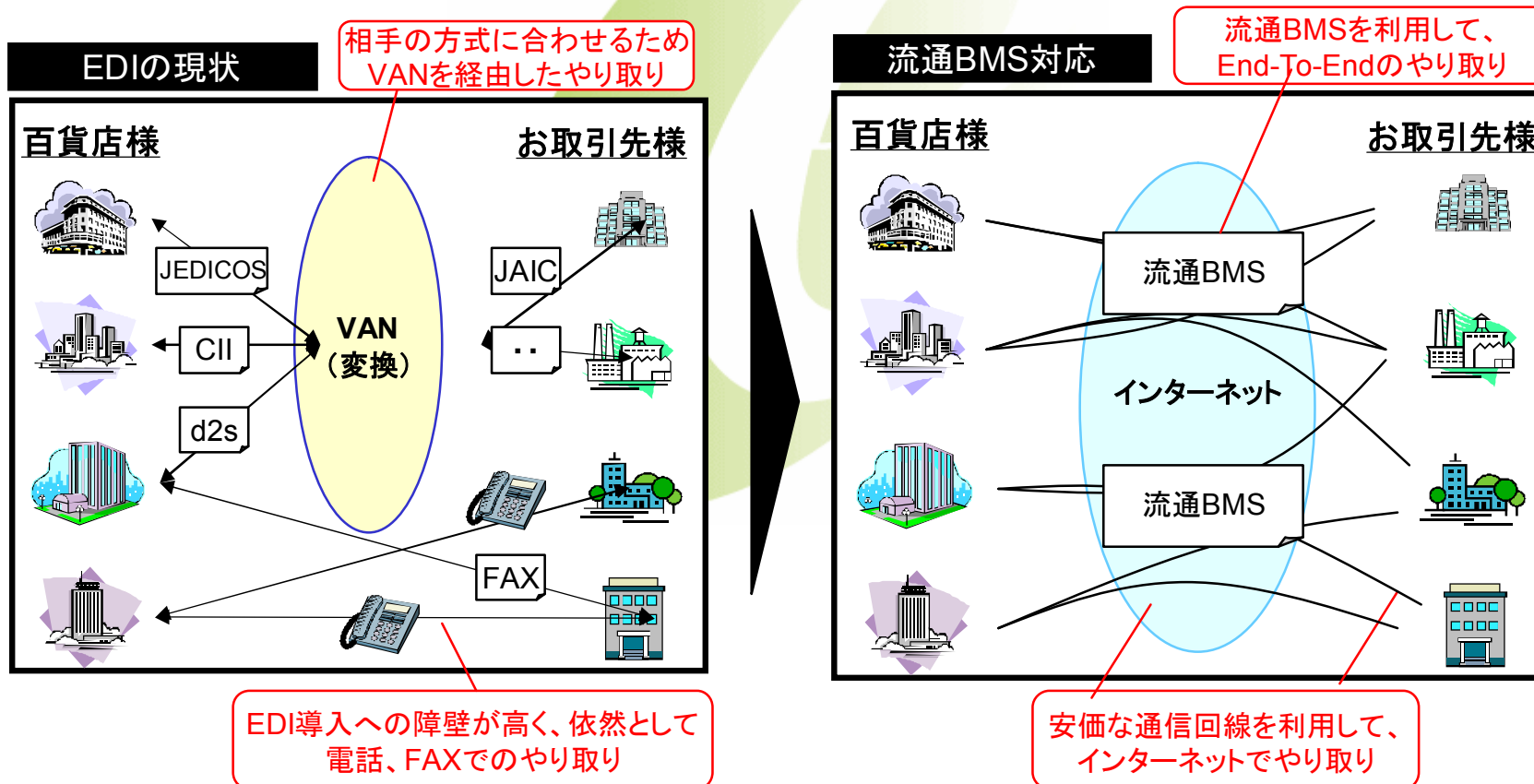
百貨店eMPでは、経済産業省「流通システム標準化事業」にて策定されている流通ビジネスメッセージ標準(以下 流通BMS)を利用したデータ交換サービスを開始致します。

本資料では

- ・流通ビジネスメッセージ標準(流通BMS)とは？
 - ・流通BMSのメリットとデメリット
 - ・百貨店eMPでご提供する機能のご紹介
 - ・百貨店eMPの新仕様
 - ・d2s推奨メッセージと流通BMSとのマッピング
 - ・サービス拡張の概要
 - ・百貨店eMPリリーススケジュール
- について次ページ以降に説明させていただきます。

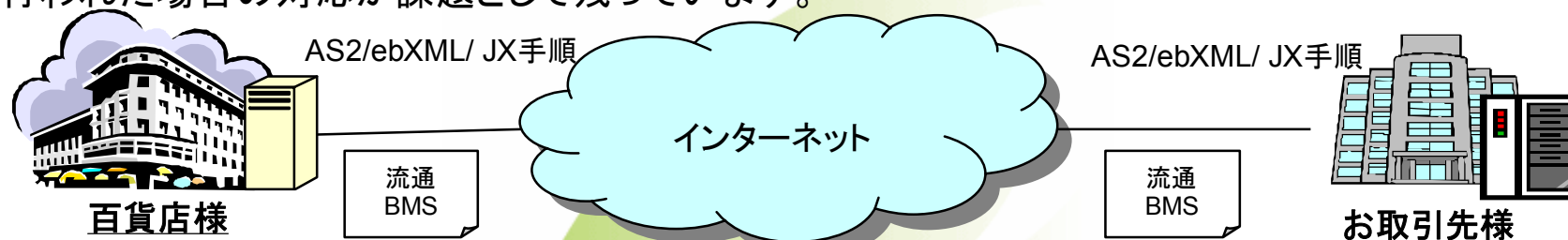
流通ビジネスメッセージ標準(流通BMS)とは？

流通業界ではサプライチェーン全体の効率化/ローコスト化を図るツールとしてEDIを利用していますが、百貨店業界での普及率は全体平均で20%前後の取引規模に留まっており、普及道半ばの状況にあります。そこで、経済産業省主導にて平成18年度より「流通システム標準化事業」として、インターネット等技術革新の経済性・利便性を利用した流通ビジネスメッセージ標準(流通BMS)を策定することにより、どのお取引先でも利用できるように百貨店業界全体のEDIフォーマットを一本化しています。平成20年度の経済産業省事業としては、検討してきた各メッセージの共同実証を実施し、来年度より本格運用の開始を予定しています。(参考URL: <http://www.dsri.jp/scmpjt/>)



流通BMSのメリットとデメリット

流通BMSで規格が統一されているため、End to Endでデータ交換が可能となります。その一方で、プロトコルが複数(AS2、JX手順等)存在する、移行時の構築・運用コストが増大する、現在利用しているフォーマット、プロトコルを利用している相手先とのデータ交換、流通BMSのバージョンアップが行われた場合の対応が課題として残っています。



流通BMSのメリット

①メッセージフォーマットの統一化

各社各様のEDIメッセージに対応するための導入・運用コストを削減できる。

②EDIの対象範囲の拡大

現状・将来のビジネスモデルに合わせてメッセージを追加し、また中小規模の百貨店様、お取引先様にも簡易に利用できるメッセージを策定する。

③通信インフラの効率化

常時接続等高価な通信インフラからインターネットを利用することで導入・運用コストの削減できる。

流通BMSのデメリット

①社内システムの構築、改修コストが必要

流通BMSではXMLを前提としているため、社内システムをXML対応へ改修する必要がある。

②移行期を意識した設計でない

移行期を意識した設計ではないため、既存メッセージとのメッセージ交換ができない。そのため移行期には既存メッセージを交換するための現行システムと流通BMS対応の2つのシステムを構築・運用する必要がある。

③流通BMSバージョンアップ対応等が必要

End to Endでのメッセージ交換を前提としているため、流通BMSのバージョンアップ等を実施する場合には相手方との同期を取り、管理していく必要がある。

百貨店eMPでご提供する機能のご紹介(1/4)



百貨店eMPでは、流通BMS対応を実施することで前述したメリットを活かしつつ下記機能によりデメリットを吸収することで、社内システムの開発コストの軽減と運用業務の効率化に貢献いたします。

流通BMSのデメリット

- ①社内システムの構築、改修コストが必要
- ②移行期を意識した設計でない
- ③流通BMSバージョンアップ対応等が必要

百貨店eMPでご提供する機能※

- I.メッセージフォーマット変換
- II.プロトコル変換
- III.流通BMSバージョン変換(予定)

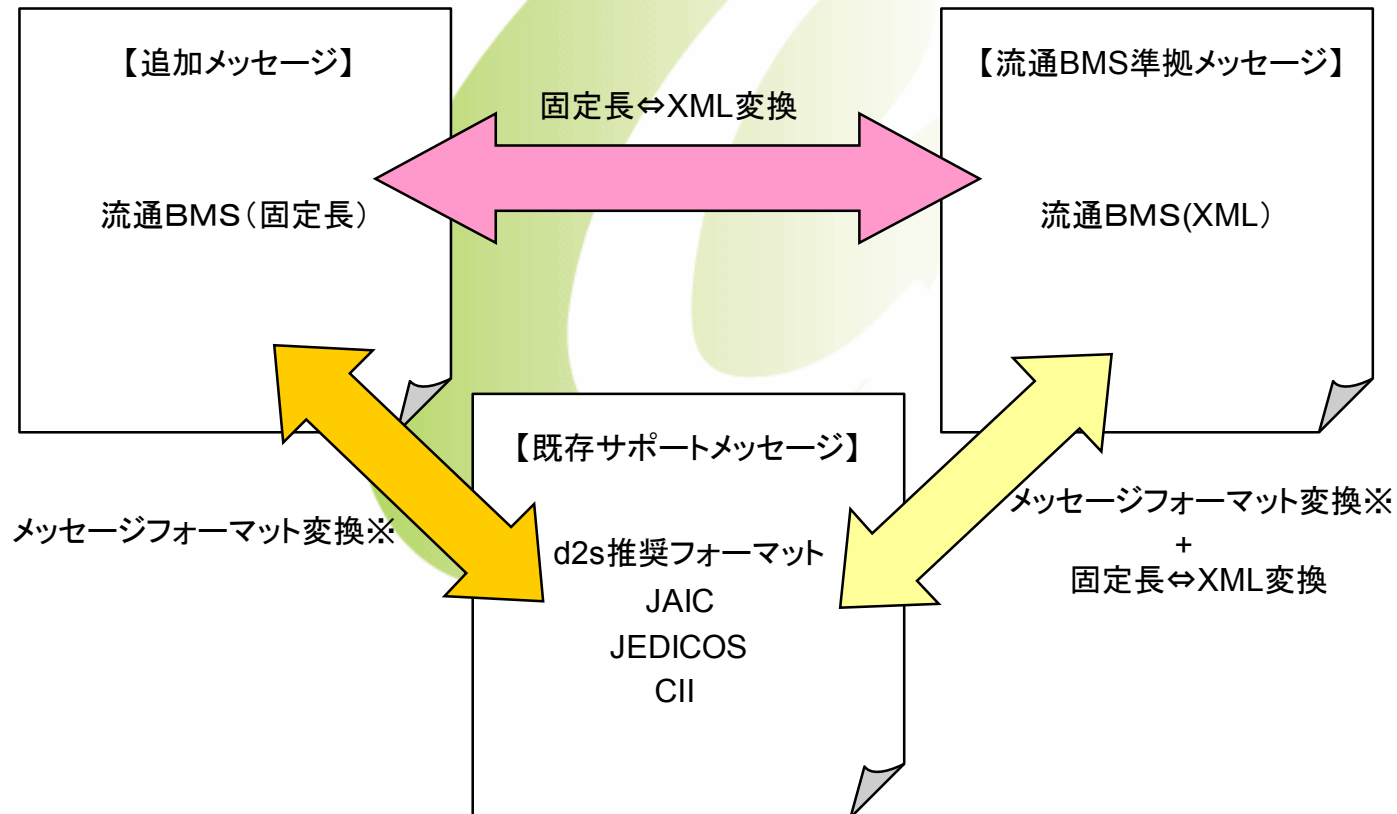


※流通BMS対応はHOST利用の場合のみ対象となります。

百貨店eMPでご提供する機能のご紹介(2/4)

I.メッセージフォーマット変換

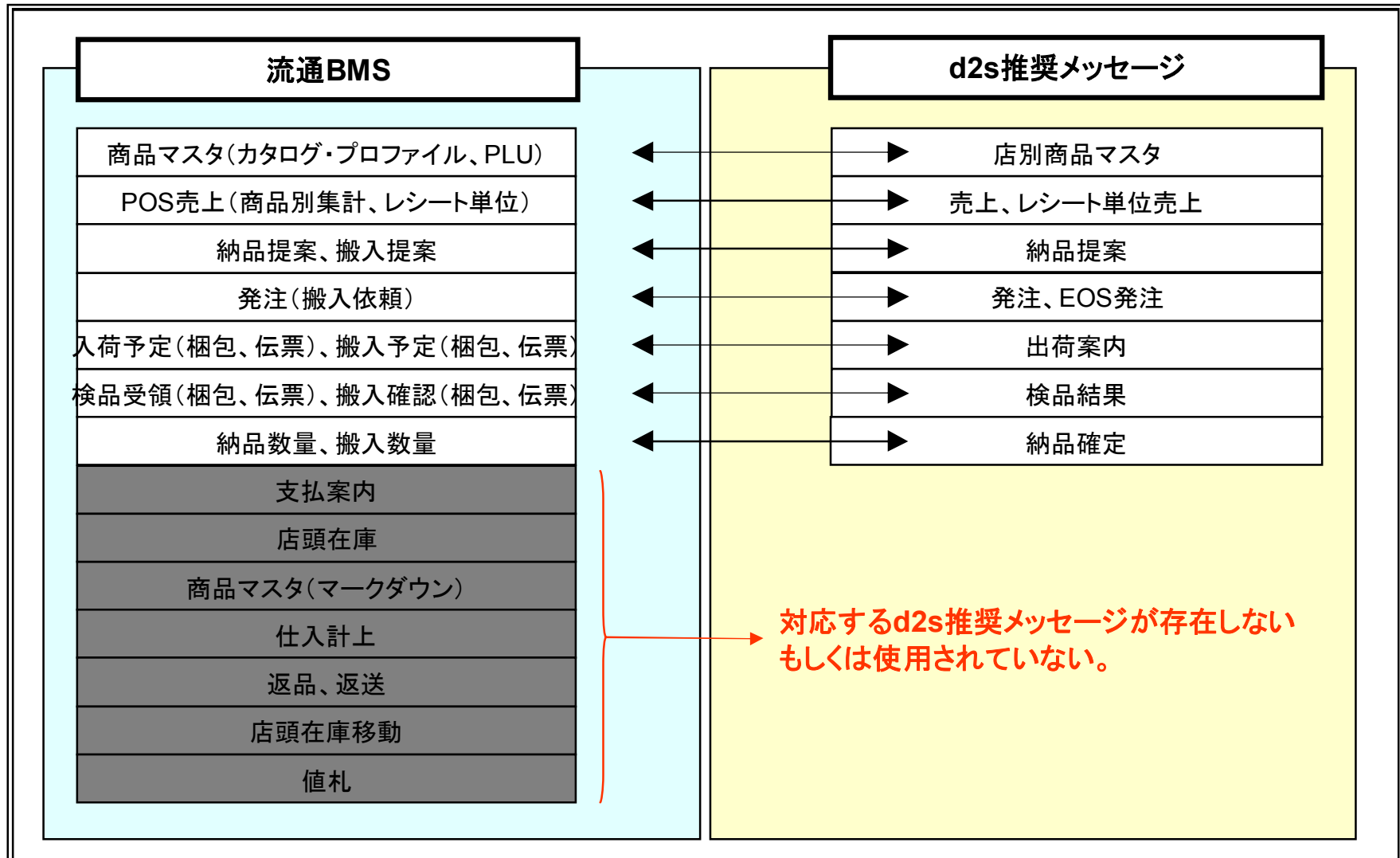
百貨店eMPでは、既存でサポートしているd2推奨フォーマット・JAIC・JEDICOS・CIIと追加メッセージである流通BMS(固定長)、XML形式の流通BMSの相互変換を行います。これにより、既存でサポートしているメッセージフォーマットをご利用の相手先とメッセージ交換できるだけでなく、社内システムをXML対応することなく流通BMS準拠のメッセージを利用することができます。



※流通BMSのみに存在するメッセージ項目、またはd2s推奨メッセージとマッピングできないメッセージ項目については、データの欠落が発生する可能性があります。

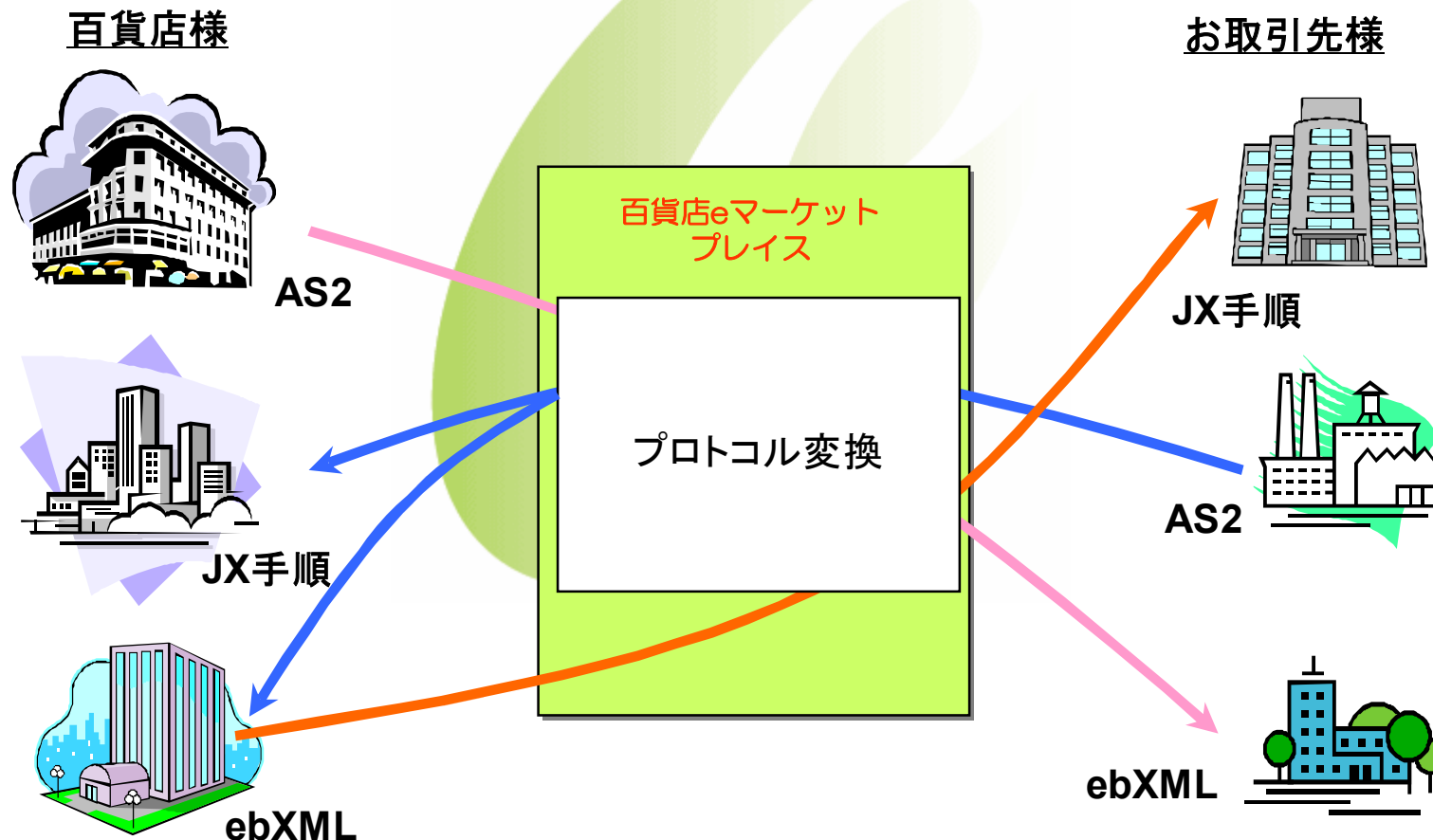
(参考) d2s推奨メッセージと流通BMSとのマッピング

d2s推奨メッセージにマッピングできると思われる流通BMSは次のとおりです。ただし、実際にマッピングできるかどうかは詳細な検討が必要となります。



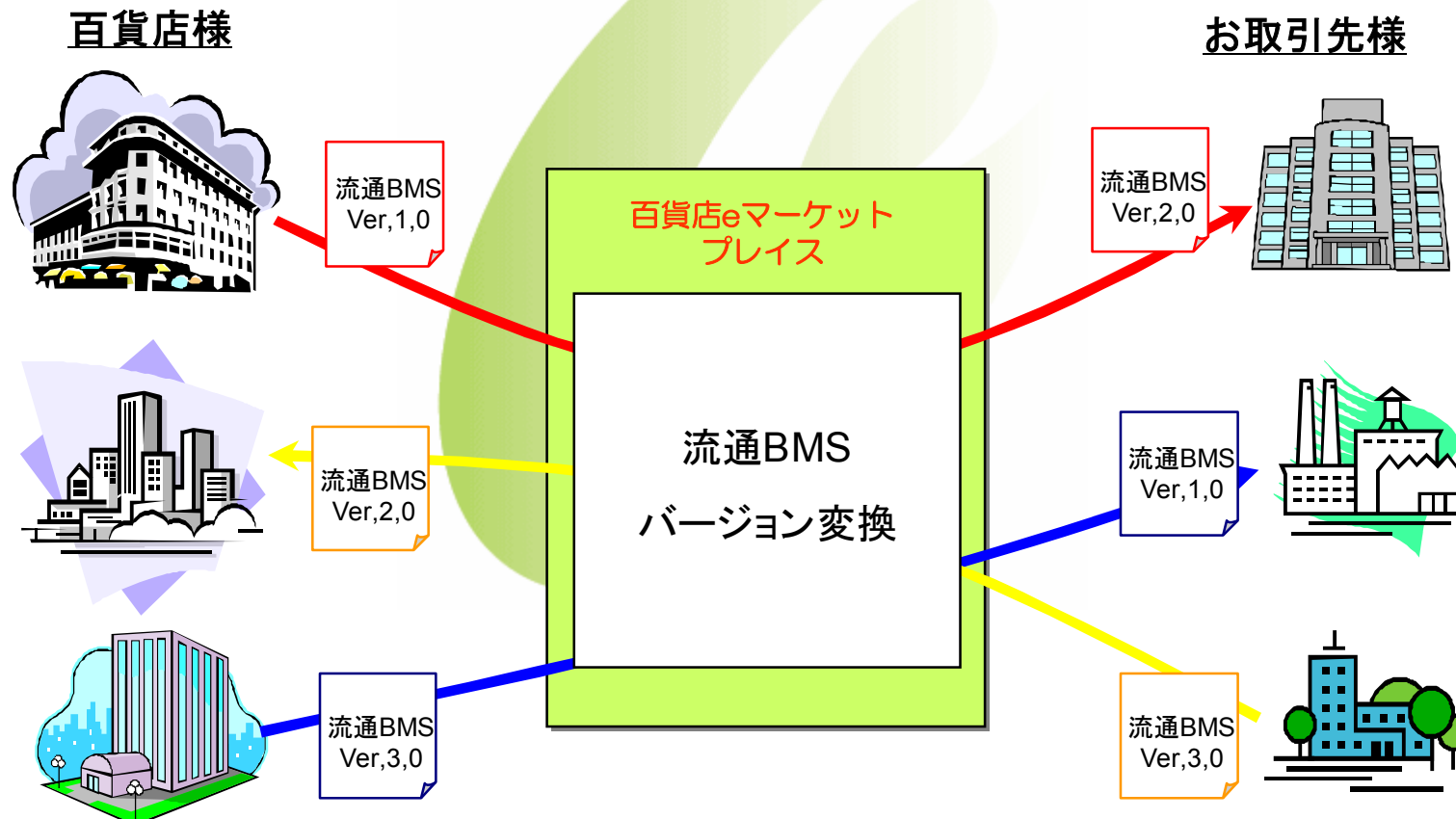
II. プロトコル変換

End to Endで流通BMSを利用する場合には、相対のプロトコルを統一する、または流通BMSで策定されているすべてのプロトコル(AS2/ebXML/JX手順)を用意しなければなりません。百貨店eMPでは流通BMSで規定されているプロトコル(AS2・ebXML・JX手順)をサポートすることで相手方のプロトコルを意識することなくメッセージ交換をご利用いただけます。



Ⅲ.流通BMSバージョン変換(予定)

流通BMSでは、より現状のビジネスに則したメッセージとなるようバージョンアップが行われていくことが想定されます。End to Endの場合では、相手方と同期をとってバージョンアップに対応していく必要性があります。そこで、百貨店eMPではバージョンの違いを吸収し変換を行うことで、バージョン管理の軽減に貢献いたします。※



※流通BMSのバージョンの違いによりマッピングできない項目は、データ欠落が起こる可能性があります。また、本機能の対応時期は未定となります。

百貨店eMPの新仕様



百貨店eMPの新仕様は下記のとおりとなります。

百貨店eMPでは、現在利用している仕様に加えて、流通BMSの標準仕様に準拠しております。

: 追加仕様

百貨店eMPの新仕様	
取引業務プロセス (メッセージ種)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #fff9c4; border: 1px solid #000; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> d2s推奨メッセージ (現行14種別) </div> <div style="background-color: #ffcc99; border: 1px solid #000; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> 流通BMS (26データ種別) </div> </div>
データ項目	
コード (GTIN、GLN等)	
データ表現形式	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #fff9c4; border: 1px solid #000; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> 固定長 </div> <div style="background-color: #ffcc99; border: 1px solid #000; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> XML </div> </div>
証明書	電子証明書 <small>※AS2/ebXML/JX手順利用時</small>
通信手順	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #fff9c4; border: 1px solid #000; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> JCA/FTP / JCA-H 全銀BSC/全銀TCP-IP/AS2 </div> <div style="background-color: #ffcc99; border: 1px solid #000; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> ebXML/JX手順 </div> </div>
通信基盤	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #fff9c4; border: 1px solid #000; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> IP-VPN (常時接続、ダイヤルアップ) </div> <div style="background-color: #fff9c4; border: 1px solid #000; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;"> インターネット <small>※AS2/ebXML/JX手順利用時</small> </div> </div>

※流通BMSでは、JCA,全銀BSCの通信プロトコルは対応しておりません。

◆ Windows Vista/InternetExplorer7対応

【目的】Windows VistaやInternetExplorer7の普及に伴い、より多くのユーザ環境で百貨店eMPを利用できるようにします。

【概要】現行の百貨店eMPがサポートしている「Windows XP」「InternetExplorer6 SP2 日本語版」に加え、「Windows Vista」「InternetExplorer7 日本語版」をサポートいたします。

◆ パスワード再発行機能

【目的】現行の百貨店eMPでは、ユーザがログインパスワードを忘れた場合、ヘルプデスクへパスワード初期化を依頼しなければならず、ご利用担当者様の手間、時間がかかっています。そこで、ご利用担当者様でパスワードを再発行できるようにいたします。

【概要】ご利用担当者様が「ユーザID」、「登録済みメールアドレス」を入力し、パスワード再発行ボタンを押すと、メールにてユーザ情報画面で登録されているメールアドレス宛に初期化パスワードを通知いたします。

◆ メッセージ受信者側への配信通知機能(メッセージ交換サービス)

【目的】メッセージ交換サービスにおいて、受信者が自分のメールボックスにメッセージが届いているかを確認するためには、都度百貨店eMPIにログインしなければならず、不定期にメッセージが届く百貨店様/お取引先様にとっては確認作業が発生しております。そこで、百貨店eMPIにログインしなくても確認できる機能を新設いたします。

【概要】受信者側のメールボックスにメッセージが届いたタイミングで、その旨をユーザ情報登録画面で登録されているメールアドレス宛へメール通知いたします。
(ユーザ・メッセージ種別毎に設定可能)

百貨店eMPリリーススケジュール

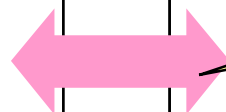


百貨店eMPのリリーススケジュールは下記のとおりとなります。流通BMS対応は、「流通システム標準化事業」にて仕様が確定以降に本格サービスを開始いたします。

百貨店eMPは経済産業省「流通システム標準化事業」の共同実証に参加します。

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
スケジュール	システム開発	[開発期間]							
	リリース作業に伴う設定業務の凍結		[凍結期間]						
	新サービス対応工事			★ 11月8日～9日(予備日:11/22-23)					
	流通BMS対応サービス開始				[実証(予定)]				本格サービス開始(予定)※
	拡張サービスのサービス開始				[拡張サービス開始期間]				

設定変更の凍結等リリースに伴うお客様への影響については別途御連絡させていただきます。



※「流通システム標準化事業」での流通BMS検討のスケジュールにより、サービス提供時期が遅れる可能性があります。